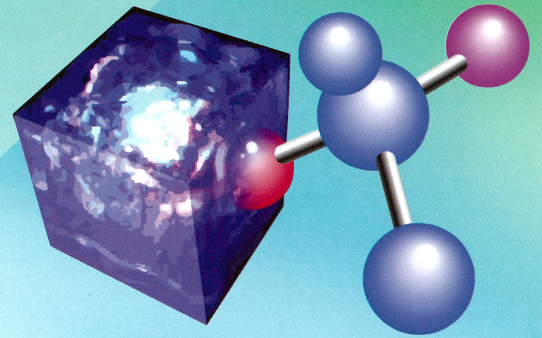
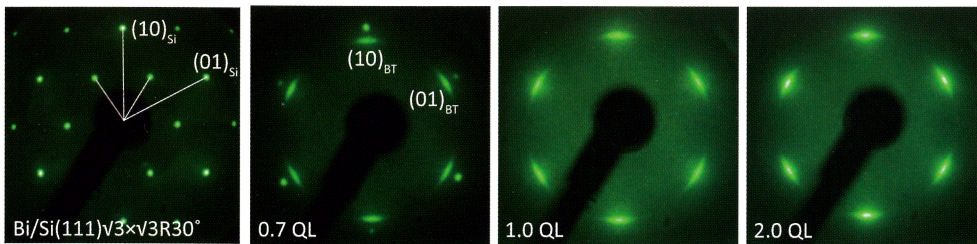


京都大学 物性科学 センター誌

(LTM センター誌)



Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]



低速電子回折法(LEED)により観察した Bi 終端 Si(111)基板上における Bi_2Te_3 のエピタキシャル成長の様子

第39号
2021. 12

目 次

第 39 号 2021 年 12 月

研究ノート

Bi₂Te₃ 超薄膜の電子構造と電気伝導

..... 八田振一郎 … 3

光誘起電気二重層を用いた有機モット絶縁体における光誘起超伝導

..... 須田 理行 … 10

技術ノート

液体ヘリウムベッセル加圧用足踏みポンプ

..... 多田 康平 … 17

運営状況

寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 23

環境安全保健機構併任教員..... 25

投稿案内..... 26

編集後記..... 27

Table of Contents

Research Reports

- Electronic structure and electrical conduction of ultrathin Bi₂Te₃ films
..... Shinichiro Hatta ... 3
- Light-induced Superconductivity in an Organic Mott Insulator
utilizing a Photo-active Electric Double Layer
..... Masayuki Suda ... 10

Technical Note

- Foot Pump for Pressurizing a Liquid Helium Tank
..... Kohei Tada ... 17

From Organizing Committee

- Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus
..... 23
- Concurrent Staffs of the LTM Center 25

Call for Manuscript 26

Editor's Note 27

「京都大学物性科学センター誌 (LTMセンター誌)」への投稿のお誘い
並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良^{1,2}, 編集委員会²

¹京都大学大学院理学研究科, ²京都大学物性科学センター

K. Yoshimura^{1,2} and Editorial Committee²

¹Graduate School of Science, Kyoto University,

²Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

1. はじめに

「京都大学物性科学センター誌 (通称: LTM センター誌, 英文名: Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University))」では、環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」, 「技術ノート」, 「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は、編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては、電子ファイルを下記[†]宛にお送りください。また、併せて印刷原稿も[†]宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので、以下第2章を御参照のうえ MS-Word を用いて作成してください。 InDesign または QuarkXPress のファイルでも結構です。また、pdf ファイルも併せてお送りください。なお、編集委員会からの原稿依頼も行いますので、依頼させていただいた際にはよろしくお申し上げます。

2. 原稿の作成要領

A4 用紙 (レターサイズではありません) の上下左右に 25 mm ずつマージンをとって、和文表題、英文表題、和文著者・所属、英文著者・所属、アブストラクト (英文)、本文、参考文献、著者写真 (35mm (幅) × 40mm (高さ))、著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は、必ず上から 5 cm 程度余白を空けて表題を書いてください。本文 1 行あたり全角 45 文字、1 ページあたり 40 行を基準にしてください。漢字・かな・カナには MS 明朝、英字・数字には必ず Times New Roman、本文中の見出しには MS ゴシック (またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。) を使用してください。表題は 14 point、著者・所属は 12 point、本文は 10.5 point、図・表のキャプションは 10 point の文字を用いてください。本文中、物理記号を表す記号は斜体 (イタリック)、単位記号は立体 (ローマン) で表記し、物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを 1 個入れてください。また、章の間にもスペースを 1 行設けてください。句読点は「.,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので、できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については、本稿ならびに下記 Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

参 考 文 献

[引用番号] 著者名, 雑誌名, 巻数, 最初のページ番号, 年の順でお願いします。
例)

[1] 寺嶋孝仁, 京都大学物性科学センター誌 **30**, 26 (2016).

[2] K. Yoshimura, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

[†] 京都大学物性科学センター誌編集委員会, 〒606-8501京都市左京区吉田本町,
TEL : 075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁) .

編集後記

昨年からのコロナ禍は環境安全保健機構・低温物質管理部門の活動、特に「物性科学センター講演会・研究交流会」をはじめとした、寒剤利用者間の情報共有、研究交流などの活動にも大きな影響を与えてきました。そのような中で、この「物性科学センター誌」は皆様のご協力により、寒剤利用者の幅広い研究を紹介することなど、一定の役割を担えてきたのではと考えております。

今年度の後期になって、やっと対面授業が再開されるなど、大学の本来の姿が取り戻しされつつあります。来年度こそは「物性科学センター講演会・研究交流会」の再開をはじめとして、従来のような寒剤利用者間の活発な交流が行われることで、本学の寒剤利用者コミュニティの発展につながればと願っております。

T. T.

京都大学 物性科学センター誌 (LTM センター誌)

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第39号 2021年12月 Volume 39, December 2021

編集委員会：寺嶋 孝仁 (編集委員長), 吉村 一良,
矢持 秀起, 石田 憲二, 中村 裕之,
笠原 裕一, 藤原 直樹, 前里 光彦, 藤田 晃司

事務局：〒 606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学環境安全保健機構 物性科学センター
Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷株式会社

研究ノート

- p3 · Bi_2Te_3 超薄膜の電子構造と電気伝導
八田 振一郎
- p10 · 光誘起電気二重層を用いた有機モット絶縁体における光誘起超伝導
須田 理行
- p17 技術ノート
液体ヘリウムベッセル加圧用足踏みポンプ
多田 康平

運営状況

- p23 · 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p25 · 環境安全保健機構併任教員

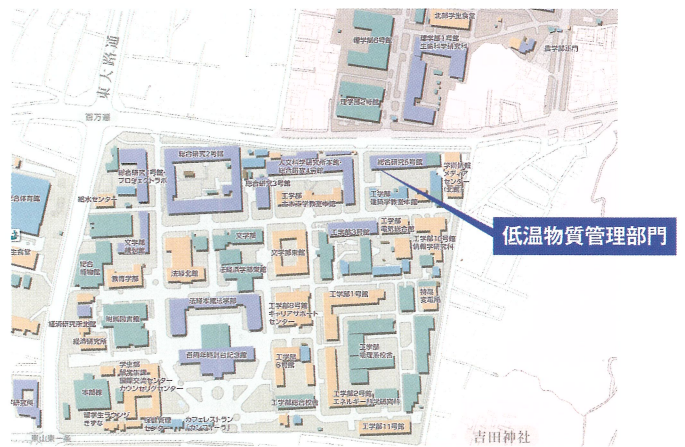
投稿案内

編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

